

平成29年度公益社団法人長野県社会福祉士会 事業報告

I 総括的事項

本会は、県民に対する生活の支援と権利の擁護、社会福祉に関する知識・技術の県民への普及・啓発、並びに社会福祉事業に携わる専門職員に対する技能の研鑽に関する事業等を積極的に展開してきました。

併せて、平成29年度には県や市町村が、今後3年間の事業計画を策定した「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」や「長野県障がい者プラン」に対し、本会は、取り入れるべき内容を社会福祉士の視点から意見や提案を行いました。福祉専門職の団体として、ソーシャルワークの基盤である社会変革のための政策提言を積極的に行った年でした。

本会は、成年後見制度利用促進法の成立及び国が示した基本計画に対して、いち早く成年後見制度利用促進プロジェクトチーム(以下、PTという)を立ち上げ、PTを中心に、県内どこで暮らしていても、どのような状態にあっても、県民が公平に成年後見制度等の権利擁護のシステムが利用できるために、県、県弁護士会、県司法書士会のリーガルサポートながの等と連携し、成年後見制度の普及・啓発、促進を図って来ました。

各委員会や地区単位で企画実施した、福祉まるごと学会や各種セミナー・シンポジウムは、タイムリーな話題を取り上げ、この一年間で9会場において実施し、会員だけでなく一般公開も行い、県民も含め約1,300人が参加しました。

研修事業では、昨年に引き続き基礎研修全科目修了者25名を輩出しました。研修参加者数は他県に比べ多く、新潟県、山梨県との研修の相互乗り入れは定着し、3県の受講生の便宜を図るとともに、受講継続のために有効に機能しました。また、基礎研修に加え、認定社会福祉士取得のための2つ目の専門研修として、『障がいの地域生活支援研修』の認証を取得しました。認定社会福祉士を目指す障がい分野の社会福祉士の専門研修の1つとして、有効に活用されると思います。

さらに、社会福祉士実習指導者講習会、社会福祉士国家試験受験対策支援の統一模擬試験の実施、高齢者虐待対応現任者標準研修を実施して、会員以外にも研修の機会を提供しました。

8月には、ソーシャルワーカー養成校である長野大学並びに松本大学と連携し、ソーシャルワーカーデー企画として、県医療ソーシャルワーカー協会、県精神保健福祉士協会と初めて共催で、『ソーシャルワーカーの使命・専門性・可能性』を考えるフォーラムを開催しました。ソーシャルワーカー養成校とソーシャルワーカー団体として活動する各会との連携は、今後も増々必要になると考えます。

虐待対応では、県や県弁護士会と連携し、市町村に虐待対応専門職チームを派遣するとともに、虐待対応標準研修や各種研修等を通じ、虐待対応の第一義的責務を担う市町村への支援を行いました。養護者による虐待対応については、少しずつ周知されてきていますが、県内においても養介護施設従事者等による虐待が増加傾向にある中で、本会としても取り組みを継続・推進していくことが求められています。

平成30年3月31日現在の本会会員は1,103人 この1年間で65人の会員を迎えましたが、退会者も多く実質26人の増に留まりました。そして組織率は29.74%と低迷していますが、全国的には上から7番目の位置で、また人口10万人当たりの会員数は52.83人となり全国第4位となっています。

今年度の事業実績・教訓を活かしながら、私たち長野県社会福祉士会員は、公益社団法人の組織の一員として、また、ソーシャルワーカーとしてさらなる前進と向上が求められています。

Ⅱ セミナー等開催事業

1 平成29年度 福祉まると学会

- ① 企画 福祉まると学会運営委員会
- ② 日時 平成29年6月10日(土) 13:20～16:20
- ③ 会場 松本大学
- ④ 参加者 185人
- ⑤ 内容

- 研究発表 正会員7人(高齢者支援、児童・教育、障がい者支援)

高齢者支援	児童教育推進	障がい者支援
伊藤 浩志	馬場 和子	小林 彩子
清水 学	土屋 栄司	<指定報告>尻無浜博幸
川瀬 初美	両角 佳子	<指定報告>樋口 忠幸

- シンポジウム

- ◆ テーマ:「地域共生社会」の実現に向け、社会福祉士・会の役割を考える

- ◇ シンポジスト 萱津 公子 氏

(長野大学特任教授)

” 内田 宏明 氏

(日本社会事業大学准教授)

” 尻無浜 博幸 氏

(松本大学総合経営学部教授)

- ◇ コーディネーター

三村 仁志 氏

(長野県社会福祉士会・会長)



2 『ソーシャルワーカーの使命・専門性・可能性』を考えるフォーラム

～これからのソーシャルワーカーの醍醐味と役割を発信！～

- ① 共催 一般社団法人長野県医療ソーシャルワーカー協会、長野県精神保健福祉士協会
- ② 日時 平成29年8月6日(日) 13:20～16:30
- ③ 会場 松本市松南地区公民館 大会議室
- ④ 参加者 108人
- ⑤ 内容

- 講演

- ◇ テーマ ソーシャルワーカーの役割・専門性、そして期待

— 認定社会福祉士制度から考える —

- ◇ 講師 橋本 正明 氏

(認定社会福祉士認証・認定機構長元日本社会福祉士会長)

- シンポジウム ソーシャルワーカーの使命・専門性・可能性等の未来を語る

— 現場から 醍醐味、役割、そして これからの 発信 —

- ◇ コメンテーター 橋本 正明 氏(前掲)

- ◇ シンポジスト 植竹 日奈 氏(長野県医療ソーシャルワーカー協会 会長)



- ” 夏 目 宏 明 氏（長野県精神保健福祉士協会 会長）
 ” 佐 藤 もも子 氏（長野県社会福祉士会 理事）
 ◇ コーディネーター 萱 津 公 子 氏（長野県社会福祉士会 会長）



3 重症心身障がい児・者シンポジウム

- ① 企 画 長野県社会福祉士会・北信地区
 ② 日 時 平成29年11月11日（土）13:00~16:30
 ③ 会 場 にじいろキッズ
 ④ 参加者 88人
 ⑤ 内 容

- 基調報告 「重症心身障がい児者と医ケア児者の課題と
 支援者側の体制の課題、医療にできることの開拓」

- ◇ 講 師 亀 井 智 泉 氏
 （長野こども療育推進サークル ゆうテラス）

- シンポジウム 「ライフステージにおける家族の思いに
 地域の支えは応えられているのか？」

- ◇ 助 言 者 亀 井 智 泉 氏（前掲）
 ◇ シンポジスト 久保田 久美子 氏（Sさん＝小学生の母）
 ” 大久保 千 枝 氏（プランナー 篠ノ井愛の樹園）
 ” 中 村 敏 子 氏（Yさん＝おとなの母）
 ” 塩 原 康 二 氏（プランナー ほっとらいふ相談室桃の郷）
 ” 清 水 隆 一 氏（医療法人コスモス会コスモス在宅クリニック院長）
 コーディネーター 吉 澤 利 政 氏（長野市障害ふくしネット医療的ケア支援委員会委員長）

重度の障害ある子の
 家族が経験談を語る
 長野でシンポ
 県社会福祉士会（長野市）は
 このほど、心身に重度の障害
 がある子どもたちの家族などか
 ら話を聞き、地域でどう支え
 るかを考えるシンポジウムを
 長野市内で開いた。約90人が
 参加し、家族らの話す経験談
 やこれからの課題に耳を傾け
 た。

障害児の母親ら7人が登壇。このうちの2人は、呼吸器の管理が必要なため常に子どもから目が離せず「24時間365日、気が抜けない」と話した。病院と患者、家族のつなぎ役をしている「長野こども療育推進サークルゆうテラス」代表の亀井智泉さんは、「地域福祉は高齢者だけのものではない」とし、医療や福祉の枠を超えた看護のサービ
 スが必要と指摘した。

シンポジウムは、生涯を通じて支援が受けられる態勢の実現について考えてもらおうと企画。訪問リハビリを担当しているという作業療法士の渡部真奈美さん（44）須坂市は「重度の障害がある人に対する自宅でのサービスが必要と分かった」といい、「課題があっても地域で柔軟に対応していく仕組みづくりが大切だ」と話した。

自分たちの経験やこれからの課題を話す重い障害がある子どもたちの家族ら

4 累犯高齢者・障がい者の支援を考えるセミナー

- ① 企画 地域生活定着支援センター運営委員会
- ② 日時 平成29年12月5日(火) 13:00~16:30
- ③ 会場 松本市浅間温泉文化センター
- ④ 参加者 147人
- ⑤ 内容

◆ 講演 「罪に問われた障がい者・高齢者の実情と今後の課題」

◇ 講師 野澤和弘氏(毎日新聞論説委員)

◆ シンポジウム

◇ テーマ「累犯障がい者・高齢者の支援方法について」

◇ シンポジスト 野澤和弘氏(前掲)

〃 住澤公子氏(救護施設 旭寮・ゆめのは 生活相談員)

〃 和栗剛氏(筑北村社会福祉協議会・ちくほつくる 施設長)

〃 小林和恵氏(松本少年刑務所・看守部長 矯正処遇官)

〃 青木寛文氏(長野県弁護士会／弁護士法人宮澤法律事務所)

◇ コーディネーター 小池正志氏(公益社団法人長野県社会福祉士会事務局長)

信濃毎日新聞 平成29年12月6日(水)



5 成年後見制度利用促進・権利擁護推進セミナー

- ① 日時 平成30年1月23日(火)
- ② 会場 塩尻市文化センター講堂
- ③ 参加者 186人
- ④ 内容

◆ 基調講演

◇ 演題 成年後見制度利用促進基本計画と成年後見制度の現状と課題

◇ 講師 西岡慶記氏(最高裁判所事務総局家庭局 局付裁判官)

◆ 講演

◇ 演題 長野家庭裁判所管内の成年後見制度利用の現状と課題

◇ 講師 猪坂剛氏(長野家庭裁判所裁判官)

◆ シンポジウム 自己決定権の尊重と地域における連携ネットワークづくり

◇ コメンテーター 西岡慶記氏(前掲)

◇ シンポジスト 五味弘行氏(長野県弁護士会、高齢者・障害者委員長)

〃 高野哲浩氏(リーガルサポートながの支部長)

〃 三村仁志氏(長野県社会福祉士会 前会長)

- ” 矢 澤 秀 樹 氏（上伊那成年後見センター所長）
 ◇ コーディネーター 山 口 光 治 氏（淑徳大学副学長・教授、
 日本社会福祉士会・後見利用促進等研究委員会WG委員長）



6 中信地区全体研修会 地域共生社会の実現に向けて

- ① 企 画 長野県社会福祉士会・中信地区
- ② 日 時 平成30年1月28日(土) 14:00～16:45
- ③ 会 場 松本大学5号館522教室
- ④ 参加者 146人
- ⑤ 内 容

○ 第一部事例報告

地域共生社会の実現に向けた社会福祉士の取り組み

- ① ひきこもり経験者として、専門職としての課題と今後について
磯 田 一 馬 氏（長野県社会福祉士会 福祉活動委員）
- ② 生活困窮者支援とフードドライブの活動について
村 上 晴 久 氏（松本市社会福祉協議会 まいさぼ松本 センター長）

○ 第二部基調講演 「地域共生社会の実現とソーシャルワーク」

- ◇ 講 師 原 田 正 樹 氏（日本福祉大学学長補佐・社会福祉学部教授）



7 長野の医療・福祉現場における保証問題を考えるセミナー（共催：県弁護士会、リーガルサポートながの）

- ① 企 画 長野県社会福祉士会・北信地区
- ② 日 時 平成30年2月17日(土) 13:00～16:00
- ③ 会 場 児童発達支援センター「にじいろキッズらいふ」2F多目的室
- ④ 参加者 139人
- ⑤ 内 容

◆ 講 演 「身元保証等生活サポート事業の法的問題」

- ◇ 講 師 熊 田 均 氏（弁護士、愛知県熊田法律事務所）

◆ シンポジウム

- ◇ テーマ「長野における保証問題の現状 - 現場からみた」
- ◇ コメンテーター 熊 田 均 氏（前掲）
- ◇ シンポジスト 桜 沢 篤 志 氏（長野中央病院 医療福祉相談室長）
” 庄 田 祐 輔 氏（特別養護老人ホーム真島の里 生活相談員）

- ” 峯 村 伸 吾 氏（峯村司法書士事務所 司法書士）
- ◇ コーディネーター 土 屋 ゆかり 氏（長野県社会福祉士会 福祉活動委員会）



8 認知症フォーラム（主催：箕輪町社会福祉協議会 すまいるサポート推進委員会）

- ① 日 時 平成30年2月17日(土) 14:00~16:00
- ② 会 場 箕輪町文化センターホール
- ③ 参加者 200人
- ④ 内 容
 - 第1部：映画 「認知症と向き合う」
 - 第2部：寸劇 「お互い様だよ。山向井さん！！」
 - 第3部：相談 「なるほど！納得！認知症相談室」



9 シンポジウム 「発達障がいへの理解と支援について考える」

- ① 日 時 平成30年2月24日(土) 13:00~16:00
- ② 会 場 小諸市市民交流センター ステラホール
- ③ 参加者 82人
- ④ 内 容
 - ◆ 基調講演 「発達障がいへの理解、地域における課題、社会的養護について」
 - ◇ 講 師 川 島 良 雄 氏（長野大学社会福祉学部 教授）
 - ◆ パネルディスカッション
 - ◇ テ ー マ 「地域での現状と課題を知り、今出来ることを考えよう！」
 - ◇ パネリスト 神 原 久美子 氏（社会福祉法人上田明照会 蓮の音こども園 園長）
 - ” 水 間 理絵子 氏（佐久おむすびの会）
 - ” 佐 藤 もも子 氏（東御市社会福祉協議会 まいさぼ東御 主任相談支援員）
 - ◇ コーディネーター 端 田 篤 人 氏（長野大学社会福祉学部 准教授）



Ⅲ 研修開催等事業

1 社会福祉士 基礎研修Ⅰ

- 日 程 平成 29 年 8 月 6 日・11 月 18 日（2 日間）
- 会 場 安曇野市豊科学習研修センターきぼう／豊科保健センター
- 受講者 52 人
- 内 容 社会福祉士の歩み・組織、生涯研修制度、倫理綱領・行動規範の理解等
- 講 師 矢澤秀樹／小池正志／森田靖子

2 社会福祉士 基礎研修Ⅱ

- 日 程 平成 29 年 5 月 6 日～平成 30 年 1 月 6 日（月 1 回・9 日間）
- 会 場 松本市浅間温泉文化センター／塩尻総合文化センター
- 受講者 52 人
- 内容等 相談援助、社会福祉援助、ソーシャルワーク、コミュニティソーシャルワーク、社会資源開発、ネットワーク、福祉政策、社会福祉調査、スーパービジョン、権利擁護、実践研修
- 講 師 青木靖志／森貴男／佐藤もも子／長峰夏樹／西澤範昭／勝又小百合／細田昌義
三村仁志／合田盛人／角田信治／森田靖子

3 社会福祉士 基礎研修Ⅲ

- 日 程 平成 29 年 5 月 6 日～平成 30 年 2 月 3 日（月 1 回・10 日間）
- 会 場 松本市浅間温泉文化センター／塩尻総合文化センター
- 受講者 29 人
- 内容等 対人援助、事例研究、意思決定の支援、地域における福祉活動、組織マネジメント、リスクマネジメント、福祉サービスの質と評価、スーパービジョン、新人教育 等
- 講 師 角田信治／森田靖子／森貴男／三村仁志／青木靖志／佐藤もも子／駒村和文
西澤範昭／細田昌義／勝又小百合

4 福祉関係者のための地域ネットワーク実践力養成研修（認定社会福祉士制度 認証研修）

- 日 程 平成 29 年 10 月 21 日・22 日・平成 30 年 2 月 24 日（3 日間）
- 会 場 松南地区公民館（なんなんひろば）
- 受講者 9 人
- 内 容 ソーシャルワーク実践におけるネットワーク構築、個と地域の一体的アプローチ、組織・関係機関のネットワーク作り、地域ネットワーク作り
- 講 師 坂口功／長峰夏樹／丸山沙織／小松真樹／春日優美／佐藤もも子／萱津公子

5 社会福祉士実習指導者講習会

- 日 程 平成 29 年 7 月 8・9 日（2 日間）
- 会 場 長野大学
- 受講者 41 人
- 内 容 実習指導概論、実習マネジメント論、実習プログラミング論、実習スーパービジョン論
- 講 師 内田宏明／森田靖子／細田昌義

6 社会福祉士全国統一模擬試験

- 日 程 平成 29 年 12 月 10 日（日）
- 会 場 長野大学
- 受験者 88 人

7 高齢者虐待対応に関わる研修

(1) 高齢者虐待対応現任者標準研修

- 期 日 平成 29 年 6 月 28 日・7 月 3 日・20 日（3 日間）
- 会 場 長野県総合教育センター（塩尻市）

- 受講者 127人
- 内 容 高齢者虐待防止法の理解、高齢者虐待対応と権利擁護、初動期段階・対応段階・終結と評価段階の留意点とポイント総合演習Ⅰ・Ⅱ 等
- 講 師
 外部講師： 五味弘行氏（長野県弁護士会員）
 会員講師： 矢澤秀樹／渋沢昌記／長峰夏樹／永池幹／宮本雅透／南澤保徳／勝又小百合／金箱翼／依田あけみ
 ファシリテーター（上記会員を含む）
 ： 金川優子／北澤さつき／丸茂一樹／川瀬初美／横山昌由／関口あい子／坂口功／高橋徹也／大谷庄司／風間麻奈／宮下朋子／衛藤史朗

(2) 虐待対応の基本的スタンス研修

- 期 日 平成29年9月28日
- 会 場 長野県総合教育センター
- 受講者 50人
- 内 容
 ◇ 講義 社会福祉士のあるべき虐待対応の基本的スタンス
 ◇ 講師 田村満子氏（有限会社たむらソーシャルネット代表／大阪社会福祉士会相談役）

(3) 高齢者虐待対応講師研修（長野県、長野県弁護士会と共催）

- 期 日 平成29年11月22日
- 会 場 本 会 場：長野県弁護士会館（長野市）
 衛星会場：上田・松本・飯田在住会館（県弁護士会衛星会議システム利用）
- 受講者 41人
- 内 容
 ◇ スタダードモデルの確認
 ◇ 発表 専門職派遣を受けて 佐藤裕子氏
 ◇ 演習 専門職チームの役割 それぞれの専門性を生かした助言のあり方

8 長野県地域包括ケア推進研修（県共催）

- 期 日 平成29年9月28日
- 会 場 長野県総合教育センター
- 受講者 186人
- 内 容



- ◇ 講 演
 ・テーマ “我が事・丸ごとの地域包括ケアの推進に向けて”
 ・講 師 田 村 満 子 氏（有限会社たむらソーシャルネット代表／大阪社会福祉士会相談役）
 ◇ シンポジウム 地域包括ケアの実現に向けて
 ～それぞれの役割と取組みから～

■ 助 言 者

- 田 村 満 子 氏（前掲）

■ シンポジスト

- 佐々木 公 子 氏（佐久市中込・野沢地域包括支援センター）
- 吉 澤 利 政 氏（ほっとらいふ相談室桃の郷）
- 市 瀬 邦 子 氏（長野県下伊那・飯田市生活就労支援センター）
- 立 石 武 彦 氏（茅野市役所地域福祉課生活福祉係）

■ コーディネーター

- 土 屋 ゆかり 氏（長野県社会福祉士会 福祉活動委員会副委員長）

9 研究発表・まとめ方講座

- 期 日 平成 30 年 3 月 24 日
- 会 場 長野大学
- 受講者 17 人
- 内 容
 - ◇ 講 義 実践研究発表に向けた研究発表・まとめ方
 - ◇ 講 師 鈴木 忠 義 氏（長野大学社会福祉学部）

10 講師派遣事業

(1) 虐待対応専門職派遣（協定に基づき弁護士とチーム派遣）

- 虐待対応専門職チーム派遣 4 自治体等
- 派遣会員：樋熊真智子／南澤保徳／宮本雅透／矢澤秀樹

(2) キャリア形成訪問指導事業（県補助事業）

- 派遣事業所数 延 83 事業所
- 研修内訳
 - 職業倫理（3） 地域包括ケアの推進（1） 高齢者虐待対応（26） 障がい者虐待対応（5）
 - 権利擁護（1） 接遇・コミュニケーション（26） ターミナルケア・グリーフケア（13）
 - その他（8）
- 派遣会員
青木靖志／鮎澤一樹／磯村政範／衛藤史朗／大蔭智子／奥永学／勝又小百合／金川洋
金川優子／金箱翼／上條通夫／萱津公子／川瀬初美／北澤さつき／熊本圭吾／小池達也
小池正志／小林俊之／坂口功／塩原康二／渋谷昌記／秦泉寺孝／杉浦剛／関口あい子
高岡久章／田中雄一郎／田村幸樹／土屋ゆかり／永池幹／西沢茂洋／樋沢省吾／平澤大介
福澤智子／丸茂一樹／南澤保徳／三村仁志／宮島渡／山崎博之／弓田香織／横山昌由
依田あけみ

(3) 介護支援専門員研修講師派遣（県社会福祉協議会）

- ① 「介護支援専門員更新研修（実務未経験者）」及び「再研修」 『人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理』
 - 6 月 7 日 長野会場 会員講師：横山昌由
 - 9 月 6 日 松本会場 会員講師：永井美玲
- ② 「介護支援専門員新研修（実務経験者）【初回更新者】」及び「専門研修（専門課程Ⅰ）」『対人個別援助技術及び地域援助技術』
 - 6 月 14 日 佐久会場 会員講師：森 貴男 助言者：中野 純
 - 6 月 21 日 駒ヶ根会場 会員講師：小池達也 助言者：高岡久章
 - 9 月 26 日 松本会場 会員講師：小池達也 助言者：西沢茂洋
- ③ 「介護支援専門員実務研修」『相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎』
 - 12 月 26 日 長野会場 会員講師：森 貴男、中野 純
助 言 者：二村高明、長戸桜子、市村清和、小池輝昭
 - 1 月 5 日 松本会場 会員講師：西沢茂洋 助言者：長戸桜子、守屋幹男
 - 1 月 5 日 佐久会場 会員講師：高岡久章 助言者：森 貴男、中野 純
- ④ 「介護支援専門員実務研修」 『人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理』
 - 12 月 27 日 長野会場 会員講師：横山昌由
 - 1 月 6 日 松本会場 会員講師：永井美鈴
 - 1 月 6 日 佐久会場 会員講師：金箱 翼

11 各種審議会・審査会・協議会等委員の推薦

- 長野市地域包括支援センター運営協議会 小山順子
- 暮らしのあんしんサービス事業運営監視委員会 岩崎明弘
- 長野市地域密着型サービス等運営委員会 田村幸樹
- 長野県性暴力被害者支援センター運営会議 萱津公子
- 上伊那後見センター法人後見受任審査会 林 義也
- 長野市いじめ問題対策連絡協議会 宮寄貞子
- 長野市いじめ問題調査・解決チーム 宮寄貞子
- 長野県社会福祉協議会理事 青柳與昌
- 長野市成年後見支援センター専門職調整委員会 小池正志
- 長野県生徒指導総合対策会議 東福寺裕子
- 松本市成年後見支援センター運営委員会 新保絵理
- 松本市成年後見支援センター市民後見推進委員会 新保絵理
- 長野市高齢者虐待防止ネットワーク運営協議会 渋谷昌記
- 長野市成年後見支援センター運営委員会 小池正志
- いいだ成年後見支援センター運営委員会 佐々木千栄子
- 長野市認知症支援検討委員会 小山順子
- 上田市いじめ問題調査対策委員会 内田宏明
- 長野市障害者虐待防止連携協議会 青柳與昌
- スクールソーシャルワークプロジェクトチーム委員（日士会） 内田宏明
- 長野市障害者差別解消連携協議会 青柳與昌
- 松本市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会 大谷庄司
- 養護教諭資質向上協議会 弓田香織
- 虐待対応力向上に向けた体制整備のあり方検討プロジェクトチーム（日士会） 宮本雅透
- 岡谷市いじめ問題対策調査委員会 松倉歩美
- 長野市いじめ問題対策連絡協議会 宮寄貞子
- 長野県学校支援チーム 東福寺裕子
- 上小圏域成年後見支援センター運営委員 春原伸行
- 長野県介護支援専門員研修委員会 上條通夫
- 長野県社会福祉審議会地域福祉計画専門分科会 佐藤もも子
- 平成 29・30 年度介護認定審査会委員の推薦（前任者辞任に伴う後任）
長野広域 ；長谷川泰正 松本広域 ；上條通夫 大北広域 ；五反田雄介
- 平成 29・30 年度障害支援区分認定審査会委員の推薦（前任者辞任に伴う後任）
松本広域 ；田中雄一郎

12 講師養成中央等派遣研修

- ① 2017 年度未成年後見人養成研修（試行研修）（6 月 10 日・東京）弓田香織
- ② 意思決定支援・成年後見活動ツールで伝達研修（8 月 4 日～5 日）衛藤史朗／小林俊之
- ③ 2017 年度司法福祉全国研究集会・司法福祉担当者研修会（9 月 30 日～10 月 1 日）金川優子
- ④ 基礎研修講師養成研修（11 月 23 日・東京）上條通夫／宮木芳子／田村幸樹
- ⑤ 現場のための虐待防止研修～施設従事者編～（11 月 18～19 日・東京）衛藤史朗／勝又小百合

第161号 名古屋の社会福祉士会 NEWS

●発行：公益財団法人社会福祉協議会
 ●編集：公益財団法人社会福祉協議会
 ●発行所：公益財団法人社会福祉協議会

●発行所：〒460-0836
 名古屋市中区千代田1-2-20
 ●発行部：〒460-0836

●TEL：026-266-0294
 ●FAX：026-266-0319
 ●E-mail：info@narsw.jp
 ●HP：http://narsw.jp

目次

●新会長に選挙当り、副会長に青柳典昌・上橋通夫を選出 ●新会長から2014年「地域共生社会」について ●2014年10月1日「地域共生社会」について ●新会長から2014年「地域共生社会」について ●新会長から2014年「地域共生社会」について	●「リレーエッセイ」シリーズの発表 ●「地域共生社会」について ●「地域共生社会」について ●「地域共生社会」について ●「地域共生社会」について
--	---

Nagano Association Certified Social Workers

新会長に菅井公子、副会長に青柳典昌・上橋通夫を選出

6月10日日本社会福祉協会は、新任状等を含め正会員625人に出席して、次期役員17人（約半数は160名に増減）を承認した。定時総会終了後の臨時総会では、代表理事・会長に菅井公子、副会長に青柳典昌、上橋通夫を選出した。

臨時総会に出席した正会員の平均年齢は72.9歳で、男性が15.4%、女性が84.6%。年齢層別では、高齢者が最も多く、60代が21.1%、70代が18.1%、80代が17.1%、90代が16.1%、100代が15.1%、110代が14.1%、120代が13.1%、130代が12.1%、140代が11.1%、150代が10.1%、160代が9.1%、170代が8.1%、180代が7.1%、190代が6.1%、200代が5.1%、210代が4.1%、220代が3.1%、230代が2.1%、240代が1.1%、250代が0.1%、260代が0.1%、270代が0.1%、280代が0.1%、290代が0.1%、300代が0.1%、310代が0.1%、320代が0.1%、330代が0.1%、340代が0.1%、350代が0.1%、360代が0.1%、370代が0.1%、380代が0.1%、390代が0.1%、400代が0.1%、410代が0.1%、420代が0.1%、430代が0.1%、440代が0.1%、450代が0.1%、460代が0.1%、470代が0.1%、480代が0.1%、490代が0.1%、500代が0.1%、510代が0.1%、520代が0.1%、530代が0.1%、540代が0.1%、550代が0.1%、560代が0.1%、570代が0.1%、580代が0.1%、590代が0.1%、600代が0.1%、610代が0.1%、620代が0.1%、630代が0.1%、640代が0.1%、650代が0.1%、660代が0.1%、670代が0.1%、680代が0.1%、690代が0.1%、700代が0.1%、710代が0.1%、720代が0.1%、730代が0.1%、740代が0.1%、750代が0.1%、760代が0.1%、770代が0.1%、780代が0.1%、790代が0.1%、800代が0.1%、810代が0.1%、820代が0.1%、830代が0.1%、840代が0.1%、850代が0.1%、860代が0.1%、870代が0.1%、880代が0.1%、890代が0.1%、900代が0.1%、910代が0.1%、920代が0.1%、930代が0.1%、940代が0.1%、950代が0.1%、960代が0.1%、970代が0.1%、980代が0.1%、990代が0.1%、1000代が0.1%、1010代が0.1%、1020代が0.1%、1030代が0.1%、1040代が0.1%、1050代が0.1%、1060代が0.1%、1070代が0.1%、1080代が0.1%、1090代が0.1%、1100代が0.1%、1110代が0.1%、1120代が0.1%、1130代が0.1%、1140代が0.1%、1150代が0.1%、1160代が0.1%、1170代が0.1%、1180代が0.1%、1190代が0.1%、1200代が0.1%、1210代が0.1%、1220代が0.1%、1230代が0.1%、1240代が0.1%、1250代が0.1%、1260代が0.1%、1270代が0.1%、1280代が0.1%、1290代が0.1%、1300代が0.1%、1310代が0.1%、1320代が0.1%、1330代が0.1%、1340代が0.1%、1350代が0.1%、1360代が0.1%、1370代が0.1%、1380代が0.1%、1390代が0.1%、1400代が0.1%、1410代が0.1%、1420代が0.1%、1430代が0.1%、1440代が0.1%、1450代が0.1%、1460代が0.1%、1470代が0.1%、1480代が0.1%、1490代が0.1%、1500代が0.1%、1510代が0.1%、1520代が0.1%、1530代が0.1%、1540代が0.1%、1550代が0.1%、1560代が0.1%、1570代が0.1%、1580代が0.1%、1590代が0.1%、1600代が0.1%、1610代が0.1%、1620代が0.1%、1630代が0.1%、1640代が0.1%、1650代が0.1%、1660代が0.1%、1670代が0.1%、1680代が0.1%、1690代が0.1%、1700代が0.1%、1710代が0.1%、1720代が0.1%、1730代が0.1%、1740代が0.1%、1750代が0.1%、1760代が0.1%、1770代が0.1%、1780代が0.1%、1790代が0.1%、1800代が0.1%、1810代が0.1%、1820代が0.1%、1830代が0.1%、1840代が0.1%、1850代が0.1%、1860代が0.1%、1870代が0.1%、1880代が0.1%、1890代が0.1%、1900代が0.1%、1910代が0.1%、1920代が0.1%、1930代が0.1%、1940代が0.1%、1950代が0.1%、1960代が0.1%、1970代が0.1%、1980代が0.1%、1990代が0.1%、2000代が0.1%、2010代が0.1%、2020代が0.1%、2030代が0.1%、2040代が0.1%、2050代が0.1%、2060代が0.1%、2070代が0.1%、2080代が0.1%、2090代が0.1%、2100代が0.1%、2110代が0.1%、2120代が0.1%、2130代が0.1%、2140代が0.1%、2150代が0.1%、2160代が0.1%、2170代が0.1%、2180代が0.1%、2190代が0.1%、2200代が0.1%、2210代が0.1%、2220代が0.1%、2230代が0.1%、2240代が0.1%、2250代が0.1%、2260代が0.1%、2270代が0.1%、2280代が0.1%、2290代が0.1%、2300代が0.1%、2310代が0.1%、2320代が0.1%、2330代が0.1%、2340代が0.1%、2350代が0.1%、2360代が0.1%、2370代が0.1%、2380代が0.1%、2390代が0.1%、2400代が0.1%、2410代が0.1%、2420代が0.1%、2430代が0.1%、2440代が0.1%、2450代が0.1%、2460代が0.1%、2470代が0.1%、2480代が0.1%、2490代が0.1%、2500代が0.1%、2510代が0.1%、2520代が0.1%、2530代が0.1%、2540代が0.1%、2550代が0.1%、2560代が0.1%、2570代が0.1%、2580代が0.1%、2590代が0.1%、2600代が0.1%、2610代が0.1%、2620代が0.1%、2630代が0.1%、2640代が0.1%、2650代が0.1%、2660代が0.1%、2670代が0.1%、2680代が0.1%、2690代が0.1%、2700代が0.1%、2710代が0.1%、2720代が0.1%、2730代が0.1%、2740代が0.1%、2750代が0.1%、2760代が0.1%、2770代が0.1%、2780代が0.1%、2790代が0.1%、2800代が0.1%、2810代が0.1%、2820代が0.1%、2830代が0.1%、2840代が0.1%、2850代が0.1%、2860代が0.1%、2870代が0.1%、2880代が0.1%、2890代が0.1%、2900代が0.1%、2910代が0.1%、2920代が0.1%、2930代が0.1%、2940代が0.1%、2950代が0.1%、2960代が0.1%、2970代が0.1%、2980代が0.1%、2990代が0.1%、3000代が0.1%、3010代が0.1%、3020代が0.1%、3030代が0.1%、3040代が0.1%、3050代が0.1%、3060代が0.1%、3070代が0.1%、3080代が0

会員に対する研修会・学習会等のお知らせ、
個人情報などの有用な情報の周知

「私の抱く理想社会福祉士・社会福祉士会」

 公益社団法人豊野社会福祉士会 副会長
上 條 達夫 (はまのけ学院社会福祉士学院)

私は、豊野社会福祉協議会に37年間籍を置かせていただき、平成28年3月に定年退職。先ごろ、社会保険労務士事務所と併設で社会福祉士事務所を開設しました。

社会福祉士国家試験は今年度で30回目。私は、第1回の試験が行われる10年ほど前に名古屋市社会福祉協議会に就職しました。当初は全無資格者で、地産福祉の習得に努めてまいりました。

その後、豊野市へ派遣となり無資格者のケースワーカーとして1年、社会福祉士国家試験が近づくと知り、ました。受験資格の取得のために通信制の養成校（当時、私が通学可能だったのは1校のみ）への入学を希望したのですが、課外は認められませんでした。やがて、福祉以外の職種へ異動し、その後、社会福祉協議会へ復帰。この頃は、措置が打ちあわまる介護保険制度が始まろうとしていた時期でした。

このよきな中、実効力が十分な方の権利をどのように守るべきかを考えるチームのメンバーを集めるために、社会福祉士や精神保健福祉士、司法書士など一定の資格を条件にボランティア募集したところ、10名程度の応募がありました。私の協力もいたで、社会福祉士会独自の財産管理、権利擁護のシステムをスタートすることができました。今もこの頃のメンバーにはいろいろなお声かけがなされています。

そして、ようやく平成14年に社会福祉士の試験にお声、登録ができました。

このように私は、無資格のソーシャルワーカーだった期間が長かったのですが、やはり社会福祉士の資格を身につけ、社会福祉士会へ入会できて良かったと思っています。理由はいろいろありますが、ソーシャルワークを学べる多くの仲間と知り合う機会ができたこと、これと同時にソーシャルワークの専門家として自信を差し、学び合う機会が増えたことが大きいと感じています。

専門として社会福祉士上が必要とされる期間は、次第に薄らいでいきます。社会福祉士会、会員一人ひとりの資力の向上に努めてきたように、これからは仲間と取り組むことが大切になっていっています。

貧困問題とフードバンク事業について

公益社団法人長野県社会福祉士会 副会長
青 柳 興 昌 (社会福祉士 長野県社会事業協会)



生活保護世帯の増加や子どもなどの貧困など、社会問題の一つである経済状況の変化に伴う貧困といふ課題が露わになっている時代ですが、この事業を始めるときは、平成26年9月5日に行われた信州バーソナル・サミット・モデル事業推進会議に長野県社会福祉士会代表として出席したのでした。平成27年4月に「生活困窮者自立支援法」が施行される予定だし、連立政権と政権交代もしている中で、長野県でも緊急食糧支援を行う必要性があり、先行してでもやってくるところはないか」という意がでてきた。長野省が東京のNPO法人「エカドハーベストジャパン」という団体から全国的に食糧支援を行っているのを見て、長野市社会事業協会はどうにかならないか？という中で、社会福祉法人の社会貢献事業としてスタートすることになりました。平成27年1月になり「エカドハーベストジャパン」から協賛が来て、長野県社会福祉士会協会のご協賛と協力力をいただき「生活経済支援センター まいばさ(以下まいさほ)」からの支援要請に対してフードバンク事業を開始しました。

長野県下で23のまいさほが設置され本格的に生活困窮者に対する支援が始まること、食糧支援の件数は徐々に伸びていきました。

これは、まいばさの職員(社会福祉士の大勢の仲間)のみならずの努力で滑り落ちていた問題が、次第で解決されてきた結果です。平成28年度1年間で2651世帯に支援を行ってきました。被災地支援の総額も10代から80代までと多岐にわたり、単身者のみならず児童を抱える世帯が22％、114世帯あり、子どもの貧困との関連性を捉えています。平成29年度7月27日に厚生労働省が発表した「子どもの貧困率」は13.9%で、7人1人が貧困ということになっています。また、月給額が要支援者も3%15世帯いました。そして、頼りになったのは、ライフライン費など食糧支援の収支が多額になったことでも。また、専任スタッフから支援要請もあり、都会のイメージであった県民が、長野県でも多数の状況がみられます。個別に支援件数を追って267件になりました。専任ではP・NPO法人でパートの団体を招聘して協力をしています。多世帯で多額の食糧が貧困問題の原因をえています。食糧支援と貧困問題を解決するこのツールです。まさに、全世帯で多額の食料と金銭的な多額の食糧支援体制の構築で、貧困問題に取り組みなければならないのではないではないでしょうか。また、複合的で多様な課題に社会福祉士といふとどう向き合っていくのか悩んでいるのではないではないでしょうか。



年頭所感

パーソナルワークス

ジェネラリストSWとしてスキルアップを！

公社社団法人長野県社会福祉士会！

会長 藤澤 公子

社会情勢が乱暴している今年ですが、本年が皆暗いにとって平穏な年となりますように希望いたします。

さて、昨年の県福祉社会福祉士会は、事業計画に示したもののベースとして、地域社会に対して、すべての人々が暮らし、生きがいをもち、命のかけこたえがとけ、地域社会生活の実現とは何なのかについて、考え、取り組んできました。

地域における人間関係が希薄になり、地域課題に対して、他人事による大きな苦しみから来る、地域住民が「我が事」として主体的に取り組む仕組みづくりの推進と、市町村においては、地域づくりへの取り組み支援及び、分野を越えた関係者相互のつながりを含めた「【友とこ】」の包括的・総合的な相談支援体制の整備が必要とされていきます。

これらは、まさにソーシャルワークの必要性が広く認められ、社会福祉士がその力とスキルに発揮する時代であると考えます。昨年からどのような環境や状況にあることが多く、人としての尊厳が守られ権利が擁護される必要があること。

一年間行ってきた「成年後見制度利用促進計画」に伴い、本会では今年プロフェッショナルと結成し、今年春季大会、町域社会との関係構築や町民とともに、成年後見制度利用促進計画」についての研修会を行い、市町村へ取り組みの要請を行ってまいりました。

国は「成年後見制度利用促進基本計画」の中で、各

地域における連携ネットワーク及び中核機関としての、（医療機関、福祉機関、成年後見制度利用促進機関、個人支援機関の4つの構図）について、段階的・計画的に構築することと求められるとともに、防止策の取組に配慮すべきである。」としています。

特に、昨年に向けた2025年、高齢者人口がピークを迎え、認知症高齢者数も増加すると見込まれ、700万人に達すると見られている時代に、高齢者の権利や財産を守ることに毎年後見制度利用促進法の施行が重要な意味ががり、関係者の認識として取り組む必要がります。

本年度から3年度の計画期間で策定される「市町村高齢者福祉計画・介護保険事業計画」等の策定作業が始められる予定です。そして、多くの市町村でバリエーションの募集が行われることで、本会では「市町村高齢者福祉計画・介護保険事業計画」等の中に取り立てられているなど、意見提案を昨年末市町村へ取りに行いました。

皆さんも逐漸から大人数の登録まで、人としての尊厳が守れる社会の実現のために、私たち社会福祉士会員は、関係機関や団体とのネットワークを有効に活用し、ジェネラリストソーシャルワーカーとしての自信・知識・技術のスキルアップを共に目指して行きましょう。

[illegible]

V 成年後見事業（権利擁護センター ばあとなあながの）

1 成年後見人人材育成委託研修・名簿登録研修（共催：山梨県社会福祉士会）

- 期 日 平成29年7月3日、9月9・10日、10月21・22日
- 会 場 松南地区公民館（なんなんひろば）
- 受講者 11人（山梨県1人）
- 内 容 成年後見制度の解説、成年後見活動における判断能力のとらえ方、社会福祉士と成年後見～権利擁護の視点から、財産法の基礎、財産管理のための知識、後見事務の実際、家庭裁判所の実務の理解、家族法の基礎、身上監護のための知識
- 講 師 澤地雅弘氏（長野県弁護士会員）
小笠原紘輔氏（北アルプス医療センター精神科医）
渡邊貴樹氏（リーガルサポートながの会員）
長藤美樹氏（長野家庭裁判所松本支部主任書記官）
- 会員講師：三村仁志、守屋幹雄、上條弘、鳥羽弘幸、北原俊憲

2 ばあとなあながの4地区全体研修会

- 期日・会場 東信 12月17日（日）18人 東御市総合福祉センター
南信 1月13日（土）26人 茅野市文化センター
中信 1月20日（土）32人 なんなん広場（松南地区公民館）
北信 2月 4日（日）29人 長野市ふれあい福祉センター
- 受講対象者 権利擁護センターばあとなあながの会員
- 内 容 「受任直後の事務」 講義・グループワーク
「後見実務と記録」 講義・実習
「福祉サービス利用における実務と留意点」 講義・グループワーク
「後見人の倫理」 講義・グループワーク
- 会員講師：春原伸行、宮入典子、中野純、比田井直樹、花田百恵、北原俊憲、衛藤史朗、守屋幹雄、横山昌由、三村仁志、小林俊之、高橋保行、小山順子

3 成年後見制度利用促進事業（県補助事業）

① 福祉関係者のための成年後見制度活用講座

- 共 催 長野県社会福祉協議会
- 期 日 平成29年10月25・26日
- 会 場 ビレッジ安曇野
- 受講者 41人
- 内 容 福祉サービス利用と成年後見制度、成年後見制度の概要、日常生活自立支援事業と成年後見制度、法定後見等の申立ての実務、任意後見制度と契約締結の実務、成年後見人等の職務、グループ討議・全体討議
- 外部講師 帯金康祐氏（リーガルサポートながの会員）
田畑恵一氏（伊那公証役場 公証人）
- 会員講師 小池正志／小林俊之／北原俊憲／宮澤祥大

② 成年後見制度利用促進基本計画策定等研修会

- 期日・会場・受講者
平成29年12月6日（水）千曲市更埴公民館 61人
平成29年12月7日（木）安曇野市学習交流センター 51人

○ 内容・講師

◆ 講義 成年後見制度利用促進基本計画と市町村の役割・期待

◇ 講師 池田 恵利子氏（内閣府・成年後見利用促進委員会臨時委員、
日本成年後見法学会副理事長、あい権利擁護支援ネット代表）

◆ 講義(演習) 今、求められている、中核機関の設置・地域連携ネットワークの構築に向けて

◇ 講師 川端 伸子氏（あい権利擁護支援ネットスタッフ）

③ 成年後見制度利用促進・権利擁護推進セミナー（詳細：セミナー開催事業の記載）

○ 期 日 平成30年1月23日（火）

○ 会 場 塩尻市文化センター講堂

4 ばあとなあながの業務監査委員会

○ 期 日 平成30年2月22日（木）

○ 会 場 長野県食糧会館2F会議室

○ 内 容 ① 正副委員長の選出

② ばあとなあ事業・運営、後見受任者の活動内容等の業務監査

③ ばあとなあ業務・運営等に対する業務監査委員会からの指導・助言

＜業務監査委員会委員＞

◎ 小山順子（ケアハウスエマオ施設長）

○ 田幸良友（司法書士）

・ 五味弘行（弁護士）

・ 宮澤政彦（医師）

・ 石山佳子（精神保健福祉士）

・ 越田明子（長野大学教授）

・ 伝田景光（認知症のひと家族の会県支部長）

・ 野口一輝（長野市成年後見支援C）

・ 新村潤（特養やすらぎの園副統括施設長）

・ 丸山克之（老健孝松館理学療法士）

5 長野県成年後見関係団体連絡会

○ 期 日 平成30年3月15日 13:30～

○ 会 場 長野県食糧会館2F会議室

○ 構成団体 長野県弁護士会（ひまわり長野）

（公社）成年後見センター・リーガルサポートながの

長野県社会福祉士会（ばあとなあながの）

長野県精神保健福祉士協会

公益社団法人長野県介護福祉士会

関東信越税理士会長野県支部連合会

NPO法人長野県介護支援専門員協会

（一社）コスモス成年後見サポートセンターしなの

（一社）社労士成年後見センター長野

○ オブザーバー 長野県地域福祉課

長野県社会福祉協議会

Ⅵ 生活支援等事業(受託事業)

地域生活定着支援センター事業

1 受託事業

高齢者や障がい者が矯正施設退所後、自立生活が困難な場合、保護観察所と協働して、福祉サービスの利用を援助すること等により、自立生活ができるよう支援を行う。

長野県から委託を受けて事業を実施。

2 主な事業内容

① コーディネート業務

保護観察所からの依頼に基づき、対象者に対してニーズの確認を行い、受入福祉事業所の斡旋、福祉サービスに関わる申請支援を行う。

② フォローアップ業務

コーディネート業務が終了後、地域に定着するまでの間必要に応じて、本人及び福祉事業所等に対して支援を行う。

③ 相談支援業務

被疑者・被告人段階での障がい者・高齢者の支援や矯正施設から退所した方の福祉サービス利用に関して、本人や関係者からの相談に応じ、コーディネート業務同様の相談・支援を行う。

3 支援実績

(単位：人)

業務区分		コーディネート			フォローアップ		
		H29	H28	H27	H29	H28	H27
支援人数	高齢者	17	15	20	10	8	8
	知的障がい者	10	10	5	9	3	4
	精神障がい者	3	5	5	0	0	1
	身体障がい者	2	3	3	1	1	1
	計	32	33	33	20	12	14
相談経路	前年度からの継続	13	14	13	9	5	5
	保護観察所	14	6	14	2	1	2
	他県センター	5	13	6	9	6	7
	計	32	33	33	20	12	14
退所時の状況	福祉施設	0	1	1	※ フォローアップは、施設に正式入所前のショートで繋ぐ場合、また病院入院の場合も含め期間限定のため、定着支援センターでは満期出所支援のコーディネート業務と全く同じである。		
	居宅生活	3	1	3			
	更生保護施設	7	3	4			
	救護施設	0	0	1			
	病院	1	2	0	※ フォローアップは、正式入所できても問題行動を起こし出所4年経過しても継続支援しているケースがある。		
	他県帰住等	5	10	10			
	特別調整辞退	3	3	0			
	計	19	20	19			

4 セミナー・研修会

- (1) 累犯障がい者・高齢者支援を考えるセミナー（詳細：セミナー開催事業に記載）
 ○ 期日・会場 平成29年12月 5日 松本市浅間温泉文化センター 147人
- (2) 矯正施設視察研修会
 ○ 期日・会場 平成29年10月13日 長野刑務所 24人
 ○ 期日・会場 平成29年10月23日 松本少年刑務所 13人

5 運営体制等

- 困難ケースの指導・助言を中心に、定着支援センター運営委員会を開催
 ○ 職員は、センター長及び支援スタッフ 計3人

児童虐待・DV24時間ホットライン業務

1 受託事業

「児童虐待・DV24時間ホットライン」を設置し、児童虐待及びDVに関する通告等に24時間態勢で電話相談対応する業務。

相談件数の増加と共に、内容が一層複雑化しており、電話相談対応に高度な専門性が求められている中で、電話相談対応の質の維持向上を図るため、公募型プロポーザル方式により昨年度から受託

2 業務の内容

- ・ 電話による児童虐待及びDVに関する通告、通報及び緊急の相談等の受理
- ・ 緊急事案を受理した際の児童相談所又は女性相談センターへの速やかな連絡
- ・ その他、電話相談業務全般に付帯する業務

3 業務の体制

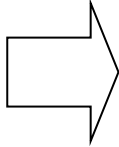
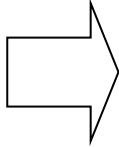
- ・ 1日24時間（夜間・深夜・早朝含む）、365日電話相談を受ける相談員（臨時職員）6人を雇用して対応
- ・ 毎月1回 電話相談員定例会を開催し情報の共有、相談業務の向上を図った。

4 通告通報・相談件数等

平成29年度 「児童虐待・DV24時間ホットライン」受付及び処理状況（4～3月）

1 通告通報・相談件数

2 処理状況

	相談種別	前年度	件数	構成比%		緊急連絡	助言・傾聴	他機関紹介	その他
児童関係	児童虐待	149	132	12.5%		86	15	18	13
	養護	116	85	8.0%		29	27	26	3
	その他(*1)	760	565	53.4%		419	51	26	69
	小計	1,025	782	73.9%		534	93	70	85
DV女性関係	DV被害	41	56	5.3%		12	8	36	0
	夫婦問題	23	33	3.1%		0	12	20	1
	親族の暴力	27	6	0.6%		1	3	2	0
	その他(*2)	58	42	30.7%		10	7	16	8
	小計	149	137	12.9%		23	30	74	9
その他(*3)		474	139	13.1%		6	49	42	42
合計		1,648	1,058			563	172	186	136

*1「児童関係」の「その他」は、虐待以外の児童・生徒からの相談や、関係機関等からの業務連絡

*2「DV・女性関係」の「その他」は、親族問題、住居問題などの相談や、関係機関等からの業務連絡

*3「児童関係」、「DV・女性関係」以外の「その他」は、問い合わせ電話など

Ⅶ 法人運営

1 定時総会

- 期日：平成29年6月10日（土） 会場：松本大学
 - 出席正会員数（委任状を含む） 625人
 - 議事事項
 - 第1号議案 平成28年度 収支決算について
 - 第2号議案 次期役員（理事・監事）の選任について
 - 報告事項
 - (1) 平成28年度 事業報告について
 - (2) 平成29年度 事業計画について
 - (3) 平成29年度 収支予算について
 - (4) 謝金・旅費等支払規程について
 - (5) 会員に対する寄付金の依頼等に関する内規について
 - (6) 運営安定化積立金設置・運用規程について
 - (7) 大規模災害発生時対応要綱について
 - (8) 大規模災害支援積立金設置・運用規程について
 - (9) 平成29・30年度 地区役員・各種委員について

2 監査会

- 期日：平成29年 4月22日（土） 会場：長野県社会福祉士会事務局
- 期日：平成29年11月15日（水） 会場：長野県社会福祉士会事務局

3 長野県情報公開・法務課立入検査

- 期日：平成29年 8月 8日（火） 会場：長野県食糧会館2F 会議室

4 理事会

- 第1回通常理事会 平成29年4月22日（土） 会場：長野県食糧会館2F 会議室
 - 議決事項
 - 第1号議案 平成28年度 事業報告について
 - 第2号議案 平成28年度 決算報告について
 - 第3号議案 平成29年度 定時総会の開催について
 - 第4号議案 次期役員（理事・監事）の選任について
 - 第5号議案 謝金・旅費等支払規程の一部改正について
 - 第6号議案 寄付金の依頼等に関する内規の一部改正について
 - 第7号議案 平成29・30年度 リーガルソーシャルワーク委員会、倫理委員会委員について
- 臨時理事会 平成29年6月10日（土）
 - 議決事項
 - 第1号議案 正副会長の選任について
 - 第2号議案 常任理事の選任について
 - 第3号議案 生涯研修センターのセンター長の選任について
- 第2回通常理事会 平成29年6月24日（土） 会場：長野大学2号館201教室
 - 議決事項
 - 第1号議案 長野県社会福祉士会 正会員の入会について
- 第3回通常理事会 平成29年8月26日（土） 会場：障がい者支援施設「ささらの里」
 - 議決事項

第1号議案 長野県社会福祉士会 正会員の入会について

第2号議案 公印管理規程の制定について

- 第4回通常理事会 平成29年11月18日(土) 会場:長野県食糧会館2F会議室

○ 議決事項

第1号議案 長野県社会福祉士会 正会員の入会について

- 第5回通常理事会 平成30年 1月20日(土) 会場:障がい者支援施設「ささらの里」

○ 議決事項なし

- 第6回通常理事会 平成30年 3月 3日(土) 会場:長野県食糧会館2F会議室

○ 議決事項

第1号議案 正会員の入会について

第2号議案 平成30年度 定時総会の開催について

第3号議案 権利擁護センターばあとなあ名簿登録規程の一部改正について

第4号議案 謝金・旅費等支払規程の一部改正について

第5号議案 謝金・旅費等の取扱いに関する内規の一部改正について

第6号議案 給与規程の一部改正について

第7号議案 平成30年度 事業計画について

第8号議案 平成30年度 収支予算について

5 常任理事会

- 4月22日/6月24日/8月26日/11月18日/1月20日/3月3日

6 正副会長会議

- 4月11日/4月22日/5月26日/6月22日/6月24日/8月8日/8月26日/9月22日
10月13日/11月6日/12月15日/1月12日/2月21日/

7 意見・提言・要望等

(1) 市町村長への要望

29長社福士第153号

平成29年12月25日

〇〇市町村長 〇〇〇〇様

公益社団法人 長野県社会福祉士会
会 長 萱 津 公 子

市町村高齢者(老人)福祉計画・介護保険事業計画等への意見提案について(要望)

<略>

さて、老人福祉法及び介護保険法に基づき、市町村における高齢者に対する保健・福祉施策や介護保険事業等の展開・推進に向けて、来年度から3年間の計画期間で策定される「市町村高齢者(老人)福祉計画」及び「介護保険事業計画」等の策定作業が進められ、パブリックコメントの募集が行われています。このような中で、本会では、居住地に関わらず生活や権利が保障される社会を目指し、県内全市町村において、住民福祉の更なる向上のために、下記の項目を計画に位置付け取り組んでいただきたく強く要望いたします。

<略>

記

1 「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けた事項

(1) 包括的な相談体制の整備を明記されたいこと。

- (2) 共生型サービスの創造と充実を明記されたいこと。
- (3) 相談専門職の確保及びスキルアップのための体制整備を明記されたいこと。

2 高齢者等の権利擁護、虐待防止・対応体制の整備に向けた事項

- (1) 養護者及び養介護施設従事者等による高齢者虐待防止・対応体制の整備を明記されたいこと。
- (2) 高齢者虐待対応を担う職員の人材確保と育成を明記されたいこと。
- (3) 適切かつ迅速な虐待対応に向けた各ネットワークの構築を明記されたいこと。
- (4) 養介護施設従事者等による虐待防止及び早期発見・対応に向けた体制整備を明記されたいこと。

3 高齢者等の権利擁護、成年後見制度利用促進の体制整備に向けた事項

- (1) 成年後見制度利用促進市町村計画の策定等を明示されたいこと。
- (2) 成年後見制度を活用した地域連携ネットワークの中核となる機関設置を明示されたいこと。
- (3) 成年後見制度の住民への周知等について明示されたいこと。
- (4) 成年後見人等の審判開始の市町村長申立てを積極的行うことを明示されたいこと。

4 高齢者の住まいと日常の暮らしを支援するための体制整備に向けた事項

- (1) 高齢者の住まいと日常の暮らしを支援する体制整備を明記されたいこと。
- (2) 介護保険サービス未利用者に対するアウトリーチ機能を含めた支援対策を明記されたいこと。
- (3) 若年性認知症者への支援の充実を明記されたいこと。

5 地域実状に応じ、2025 年を見据えた持続・実現性のある計画策定に向けた事項

- (1) 地域の実状に応じ適切なサービス量を見込むとともに、それに応じた人材確保を明記されたいこと。
- (2) 働きながら介護をする家族の就労継続と負担軽減に向けた施策を明記されたいこと。
- (3) 地域包括支援センターの適正設置と適切な人員配置を明記されたいこと。
- (4) 短期的（3 年間）な目標や計画にとどまらず、2025 年を見据えた計画を明記されたいこと。

<要望の内容・説明等 略>

(2) 長野県知事への意見・提言

① しあわせ信州創造プラン への意見・提言

- 多様性を尊重する共生社会づくり、福祉を支える体制の充実等 8 項目
- 平成 30 年 1 月 15 日

② 第 7 期長野県高齢者プラン（案） への意見・提言

- 地域包括ケアシステム構築、高齢者虐待の防止・対応、成年後見制度の利用促進等 11 項目
- 平成 30 年 3 月 2 日

③ 長野県障がい者プラン 2018（案） への意見・提言

- 障がいへの理解と権利擁護の推進、虐待防止対策の推進、虐待防止対策の推進等 10 項目
- 平成 30 年 3 月 2 日

(3) 長野家庭裁判所佐久支部長等への要望

- 要望内容 長野地方・家庭裁判所佐久支部の調査官の常駐、及び少年審判の取扱い、庁舎の建て替えについて
- 要望送付先 最高裁判所長官、東京高等裁判所長官、衆議院議長、参議院議長、法務大臣、財務大臣、長野地方・家庭裁判所長、長野地方・家庭裁判所佐久支部支部長、検事総長、東京高検検事長、長野地方検察庁検事正

VIII 委員会・地区活動・全国会議等

1 委員会活動

(1) 一般委員会

① 福祉活動委員会（４５人）

- 6月10日（土）総会時委員会
- 通年（地区学習会の企画推進、政策提言、地域包括ケア推進研修、子どもの権利条約フォーラム分科会等企画実施）

② 虐待対応委員会（４０人）

- 4月27日（木）県・弁護士会との虐待対応打合せ会議
- 6月10日（土）総会時委員会
- 7月 3日（月）正副等委員長会議
- 9月22日（金）虐待対応専門職チーム合同研修会に係る弁護士会との打合せ会議
- 10月18日（水）障がい者虐待対応現況調査に係る県との打合せ会議
- 10月31日（火）虐待対応専門職チーム合同研修会に係る弁護士会との打合せ会議
- 11月26日（日）長野県高齢者虐待対応状況実態把握調査検討会議
- 12月22日（金）障がい者虐待対応現況調査に係る県との打合せ会議
- 1月20日（土）虐待対応に係るキャリア形成訪問指導事業資料作成会議
- 3月14日（水）虐待対応委員会運営管理委員会

③ 広報編集委員会（１４人）

- 6月10日（土）総会時委員会
- 通年 広報紙の編集・校正作業（隔月奇数月１日発行に合わせて）

(2) 事業委員会

① 生涯研修センター運営委員会（１６人）

- 4月12日（水）委員会
- 5月18日（木）専門部会
- 6月10日（土）総会時委員会
- 7月20日（木）地域NW研修打合せ会議
- 8月27日（日）障がい者の地域生活研修PT
- 9月15日（金）地域NW研修打合せ会議
- 2月 5日（月）基礎研修講師連絡会議

② 権利擁護センターぱあとなあ運営委員会（４４人）

- 4月 1日（土）第1回継続研修部会（９人）
- 5月20日（土）第1回運営委員会（２９人）
- 6月 4日（日）第1回広報部会（９人）
- 6月10日（土）総会時委員会
- 7月29日（土）第2回広報部会
- 8月 6日（土）第2回継続研修部会（９人）
- 9月 2日（土）第2回運営委員会
- 9月 9日（土）第1回成年後見人候補者養成研修部会（９人）
- 9月24日（日）第3回継続研修部会
- 9月30日（土）第3回広報部会
- 11月 4日（土）第4回継続研修部会
- 12月 2日（土）第5回継続研修部会

- 12月 9日（土）第3回運営委員会
- 2月 3日（土）第4回運営委員会
- 9月24日（日）第6回継続研修部会

③ 地域生活定着支援センター運営委員会（9人）

- 5月16日（木）第1回運営委員会
- 7月11日（火）第2回運営委員会
- 9月26日（木）第3回運営委員会
- 11月14日（火）第4回運営委員会
- 12月 8日（金）第5回運営委員会
- 1月25日（木）第6回運営委員会
- 3月13日（火）第7回運営委員会

(3) プロジェクト会議等

① 福祉災害支援PT関係（6人）

- 6月18日（日）第1回プロジェクト会議
- 9月 9日（土）第2回プロジェクト会議
- 1月13日（土）第3回プロジェクト会議

② 成年後見制度利用促進推進PT（12人）

- 6月 5日（月）準備会議
- 6月12日（月）三士会（弁護士会、司法書士会）打合せ会議
- 7月10日（月）県関係課と三士会（弁護士会、司法書士会）打合せ会議
- 11月 1日（水）成年後見制度利用促進・長野県関係者会議（長野家裁、県関係課、三士会）
- 2月14日（水）家事関係協議会、成年後見制度利用促進のための三士会協議

③ 福祉まると学会運営委員会（7人）

- 12月25日（月）正副委員長選任、平成30年度実践研究発表募集要項について
- 2月 2日（水）平成30年度実践研究発表応募状況、応募者奨励賞等について

2 地 区 活 動

(1) 北信地区

① 学習会

- 8月26日（土）「ぱあとなあながの長野ブロック学習会」
- 9月 1日（金）「全世代・全対象型地域包括支援体制の構築に向けて」
- 9月16日（土）ひよこ部会「社会福祉士会ってなんぞや？」
- 10月13日（金）「社会福祉法人の社会貢献活動としての生活困窮者支援の現状と課題」
- 12月14日（木）「社会福祉士として高齢者とその家族の権利擁護と支援について考える」

② 役員会（51人）

- 5月31日（水）第1回役員会
- 2月 2日（金）三役会

③ 地区総会

- 2月17日（土）出席者 144人（委任状含む）児童発達支援センター「にじいろキッズらいふ」
内 容 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画等

(2) 東信地区

① 学習会

- 6月24日（土）「基礎から学ぶ発達障がいの理解と児童養護施設の現状」
- 8月27日（日）「生活をつなぐ療育コーディネーターのネットワーク」
- 10月28日（土）「発達障がいを支える制度の理解と活用」
- 12月17日（日）「児童発達支援の現状と子どもの発達障がいについて考える」

② 役員会（44人）

- 4月6日（木）第1回役員会（三役・福祉活動委員会）
- 6月24日（土）第2回役員会（三役・福祉活動委員会）
- 8月27日（日）第3回役員会（三役・福祉活動委員会）
- 12月27日（水）第4回役員会（三役会）
- 1月24日（水）第5回役員会
- 3月22日（木）福祉活動委員会

③ 地区総会

- 2月24日（土）出席者 158人（委任状含む） 小諸市市民交流センター ステラホール
内 容 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画等

(3) 中信地区

① 学習会

- 7月7日（金）説明会「社会福祉士ってなんだ」
- 7月21日（金）「障がい福祉分野を知ろう！」
- 7月29日（土）説明会「ばあとなあの取り組みを中心に」
- 8月18日（金）「地域生活支援事業について」
- 9月15日（金）「子どもの発達と障がい児サービスについて」
- 10月26日（木）「就労継続支援B型事業における支援について」
- 11月23日（祝）「福祉災害支援」研修会
- 11月29日（水）「精神障がい者の支援について」
- 12月8日（金）「高齢者支援における社会福祉士のあり方」
- 12月16日（土）フォーラム「松本の障がい福祉の未来を考える」
- 1月19日（金）「住まいの場と短期入所の現状と課題及び未来像&意見交換」
- 1月20日（土）「子ども家庭福祉の現状と課題について考える」
- 1月28日（日）「地域共生社会の実現にむけて」
- 2月16日（金）「障害福祉分野で聞きたいこと、あれこれ！」

② 役員会（54人）

- 4月13日（木）第1回役員会
- 5月25日（木）大北ブロック会
- 8月24日（木）第2回役員会
- 9月14日（木）第1回地区福祉活動委員会
- 1月11日（木）第3回役員会
- 3月20日（火）大北ブロック会

③ 地区総会

- 1月28日（土）出席者 146人（委任状含む） 松本大学
内 容 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画等

(4) 南信地区

① 学習会

- 7月20日（木）諏訪ブロック「地域の防災力をアップしよう」

- 7月20日（木）南信州ブロック「飯伊圏域における地域生活拠点整備について」
- 7月26日（水）上伊那ブロック「高齢者虐待～事例から理解を深める～」
- 9月20日（水）上伊那ブロック「生活困窮者自立支援の現状と取り組み」
- 9月21日（木）諏訪ブロック「放課後等デイサービス」
- 9月21日（木）南信州ブロック「NPO法人を利用されている方における事例検討会」
- 11月 4日（土）上伊那ブロック「成年後見利用促進基本計画」学習会
共催：三士会（県弁護士会、リーガルサポートながの、社福士会）
- 11月16日（木）諏訪ブロック学校・家庭をとりまく今日の状況」
- 11月25日（土）南信州ブロック「災害時に際して自分たちができること」
- 12月20日（水）上伊那ブロック「看取りについて考える」
- 1月18日（木）諏訪ブロック「認知症を抱える方の支援について考える」
- 2月15日（木）南信州ブロック「児童家庭支援センターの活動内容について」
- 3月14日（水）上伊那ブロック「発達障がい理解」
- ② 役員会（47人）
 - 7月15日（土）第1回役員会
 - 11月25日（土）第2回役員会
- ③ 地区総会
 - 2月17日（土）出席者 152人（委任状含む） 箕輪町地域交流センター
内 容 平成29年度事業報告、平成30年度事業計画等

3 日本社会福祉士会／関東甲信越ブロック会議等への派遣・出席

- 4月29日 関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議（長峰理事）
- 5月13・14日 都道府県ばあとなあ連絡協議会（宮本理事、衛藤理事）
- 5月23日 成年後見制度利用促進基本計画説明会（衛藤理事）
- 6月10日 未成年後見人養成研修（弓田会員）
- 6月17日 日本社会福祉士会通常総会（萱津会長）
- 8月 4・5日 意思決定支援・成年後見活動ツール伝達研修（衛藤理事、小林部会長）
- 9月 2・3日 都道府県社会福祉士会・会長会議（萱津会長）
- 9月24・25日 全国生涯研修委員会（上條生涯研修センター長、関事務員）
- 9月30日 司法福祉全国研究集会/司法福祉担当者研修会（金川委員）
- 10月14日 ばあとなあ関東甲信越ブロック連絡会（衛藤理事、宮澤ば・事務局長）
- 11月23日 関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議（橋本委員）
- 12月 2日 甲信越社会福祉士会・連携会議（上條副会長、青木理事、小池局長、関職員）
- 2月17日 関東甲信越ブロック社会福祉士会・会長会議（萱津会長）
- 11月18・19日 現場のための障害者虐待防止研修（衛藤理事、勝又委員）
- 11月23日 基礎研講師養成研修（上條副会長、田村委員、宮木委員）

平成 29 年度 公益社団法人長野県社会福祉士会 事業報告附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項はない。